

宮城県遠田郡美里町

航空宇宙関連産業への事業展開 他社との連携により地域産業の発展に貢献

1974年に金属部品製造加工業として創業。電子デバイス分野を主力に置き、2002年から金型や自動化設備等の設計・組立てを開始、2008年からは高付加価値産業（自動車、航空宇宙、医療機器、半導体製造装置）に参入し、販路拡大に取り組む。その他、省力化機械の設計製作、多品種少量／少ロット生産の強みを活かし、航空機組立治具の設計製作・試作部品、試験装置用部品などの精密加工を展開している。

●所在地	宮城県遠田郡美里町関根新苗代江149-1
●電話／FAX	0229-34-2329／0229-34-1460
●URL	https://www.kyoyu.jp
●代表者	代表取締役 畑中 得實

●設立	1974年
●資本金	8,888万円
●従業員数	92人



強固な社内体制基盤と企業間連携による海外展開

販路開拓や海外展開に向けた社内体制強化のため、営業部門が窓口となり、見積り・受注・納入に至るまでのプロセスをISO規格に準拠。さらに、QCDを加味した事前審議会を開催し、高い顧客満足度を得られる生産システムを構築した。また、宮城県内の中小製造業5社が航空機産業への参入を目指すために結成した共同受注体「エアーズみやぎ」に、代表幹事企業として参画。長期的な成長市場である航空機産業からの受注のため、企業同士の強みを活かし、不足部分を補完し合うことで、ワンチームでの新規受注体制を構築している。2018年には、裾野拡大に大きく貢献したことが評価され、産業の発展や地域経済の活性化に最も貢献した団体として「富県宮城グランプリ」を受賞。



航空機産業への参入

地域経済の牽引役として宮城県内の産業発展に貢献

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市雄勝町の復興支援を目的に、「雄勝石」を加工した極上の冷酒用酒器「雄勝の濡れ盃」を製作。また、東北大学大学院やNPO法人未来産業創造おおさき、自治体との産学官連携を図り、同社の強みである精密加工技術を駆使することで、硬くて割れやすい天然石の加工に成功。宮城県内の産業発展に大きく貢献している。



雄勝の濡れ盃

伝統工芸品や他社とのコラボによる新製品開発

「玉虫塗」や「雄勝硯」など宮城県を代表する伝統工芸品、メッキ加工やステンレス加工を手がける企業等との連携による製品開発にも取り組む。これまでにワイングラスやトロフィー、ペーパーウェイトなどのコラボ商品を開発。仙台市在住のインテリアデザイナーと職人らが共同で商品を製作するプロジェクトへ参画。アルミなどを複雑な形状に切削加工する工程を担当。仙台で開催された仙台カップ国際ユースサッカー大会の優勝トロフィーなどを製作した。



コラボ商品のワイングラス